

第1回宗像市地域公共交通会議 会議録

日 時	平成28年7月20日(水) 14時30分～15時30分
場 所	市役所本館第2委員会室
出席者	【委員】石松豊幸、大枝良直、西正博、福澤好展、森正彦、児嶋二三生、黒川貞一郎、桑野通孝、飛鷹修、関野成人、早川正史、貫一宇、原田勝子 【オブザーバー】堺裕之(福岡県) 【事務局】吉原課長、貞光、松山
報 告	1) ふれあいバス・コミュニティバスの利用状況等について
議 題	1) ふれあいバスの運行ルートの見直しについて 2) コミュニティバス車両の買替について
その他	次回日程：平成28年10月4日(火曜日)午後で調整(了承)

区分	発言内容等
	1 会長挨拶 2 委員・事務局紹介
事務局	3 報告事項「ふれあいバス・コミュニティバスの利用状況等について」説明
会長	利用状況について質疑等があればお願いします。
委員	ふれあいバスの広告収入とコミュニティバスのその他経費について内容を確認したい。
事務局	ふれあいバスの広告収入はバス車内の広告掲載に対する広告料としての収入。コミュニティバスのその他経費は、コミュニティバスの乗車が定員を超えた場合、乗車できなかった人を目的地のバス停まで運ぶためにかかった経費である。
飛鷹委員	吉武地区のコミュニティバスは世帯が少ない割には非常に利用者が多い。平成25年度から平成26年度にかけて2800人ぐらい増加し、平成26年度から平成27年度にかけては2000人ぐらい減少しているが、要因は何か。
会長	吉武系統の平成26年度から平成27年度にかけての減少の原因について分析しているか。
事務局	平成26年度に、運行計画で定めたバス停以外で下車させていたことが判明したことから是正を指導した結果、使い勝手が悪くなり、平成27年度にかけて乗客数が減少したものと推測している。

飛鷹委員	<p>他自治体でもできるだけ乗り易くしているところが結構多い。コミュニティバスは弱者を乗せるものなので、便宜を図るということも一つの方法だと思う。もう少し検討しても良いのではないかと思うがどうか。</p>
森委員	<p>コミュニティバスのバス停は警察等との協議を経た後陸運支局の認可を受けて運行しており、認可を受けたバス停以外で停まることはできない。運行者、利用者ともルールになっていたところがあったが、事故が起きた場合の問題がある。認可どおりにやろうということで、運行事業者全体で取り組んでいるところである。</p> <p>他自治体が運行しているコミュニティバスではバス停以外でも自由に止まるというのはあるが、そのように認可は受けていない。バス停でしか停まらない原則に沿って運行している。</p>
会長	<p>事務局から補足はあるか。</p>
事務局	<p>コミュニティバスについては、現在、平成 29 年度の改正に向けて各コミュニティに審議していただいている。吉武地区について先ほどの内容が意見として上がっている。市としてもできるだけ利用者のニーズに合った形態で運行できるように運輸局や関係機関と協議を進めている。</p> <p>よりよい交通に向けて調整していきたいと考えている。</p> <p>吉武地区のコミュニティバスの会議にも参加し実際に意見いただいている。</p> <p>今後は地域と協議しながらコミュニティごとに検討し、次回以降のこの会議の中で皆様に御審議をいただきたいと考えている。</p>
会長	<p>それでは、次回から始まるコミュニティバスについての協議で今回出た意見も議題の一つとしてあがるという認識でよいか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
会長	<p>委員よろしいか。</p>
飛鷹委員	<p>了承。</p>
会長	<p>それでは、利用状況についての質疑は、これもって終了する。</p>
事務局	<p>審議事項「ふれあいバスの運行ルートの見直し」について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいバスについては、現在、第 1、第 3、第 5 の各日曜日を運休としているが、自由ヶ丘地区から全日運行してほしいとの要望が出た。これについては、車両の点検整備日が必要であることから、対応できないと説明している。 ・その他の地域からの要望はなかったことから、それぞれの系統で利用の少ないバス停を抽出して運行ルートの見直しを検討した。 <p>第 1 系統については、検討の結果より効率的な運行につながらないと判断した。</p>

	<p>第2第、3系統については「自由ヶ丘5丁目」バス停を見直すことで若干の改善にはなるが、行程全体に占める改善の程度、バス停の地理的状況、第1系統のバス停利用状況との比較、バス停設置の経緯と自由ヶ丘地区からの要望を検討し、現状維持が適当と判断した。</p> <p>・利用促進等を地域と一緒に図りながら、2年後の状況を見たい。</p>
会長	<p>利用者数など、いろいろ考えられる余地はあるが、分析結果として変更しないという説明であり、利用増に向けた今後の取り組みを地域と一緒にやっていくといった内容だったが、忌憚のない御意見を願います。</p>
関野委員	<p>自由ヶ丘5丁目のバス停の利用が少ないということが資料から見て取れるが、ここは4年程前に、高齢者の生活支援の取り組みの一つとして高齢者の足を確保ということで、高台にある自由ヶ丘4丁目、5丁目、10丁目のバス停を設置した。現時点でもそうだが、高齢化が進んで車に乗れなくなる状況になるので、ぜひ路線の存続をお願いしたい。</p> <p>利用増に向けて、自治会でも利用者増に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えている。</p>
会長	<p>自由ヶ丘地区コミュニティでふれあいバスのバス停存続の要望が出ています。</p> <p>ほかに何かありませんか。</p> <p>幹線部分を走るふれあいバスよりも、次回からの協議事項であるコミュニティバスの方が細かいところを走りますので、いろんな意見が出るかと思う。</p> <p>ふれあいバスにつきましては、現状の路線とバス停を維持ということでよろしいか。</p>
福澤委員	<p>改定は行わないということの確認でよろしいか。</p> <p>2系統、3系統については、乗務員が2時間ほとんど走りっ放しの状況である。2時間ずっと乗っている乗客はいないので、できればどこかで休憩できる待機場を設けてもらおうと助かる。</p> <p>大きな事故も起こっており、バスの安全性が言われているので、改定するのであれば、その際に改善してもらいたいと考えていたので、考慮をお願いしたい。</p>
会長	<p>事務局、どうか。</p>
	<p>御意見ありがとうございました。</p> <p>第2、第3系統は始発から終点まで2時間の長い時間運行している。</p> <p>当然、事故がないことが大前提なので、安全性の向上に向けて休憩時間等についてもしっかり考えていかないといけない。時間の調整等が可能かどうか確認してどうすれば可能になるかを今後検討していきたい。</p>

会長	ふれあいバスの運行ルート見直しにつきましては、これで了承をいただいたということでよいか。 (了承)
事務局	コミュニティバス車両の買替えについて説明。 ・年に2台ずつ、平成28年度、平成29年度、平成30年度の3年で入れ替える。 ・14人定員のディーゼル車を10人定員に改造する。
会長	現行のガソリン車をディーゼル車両に変えて、今年度は吉武地区と河東地区の車両を入れ替える説明に対して質問はあるか。 私から、定員14人を定員10人にした場合に、運転手の免許の変更は必要ないのか。
事務局	車両の規格ではなく、乗車定員が基準なので、車両の定員が10人になる今回の場合は今までどおりの免許で運行できる。
会長	運行事業者は特段の変更は要らないということでもいいか。
事務局	そうです。
会長	以上、説明だがよろしいか。 (了承) 今年度の吉武と河東の車両入替えについて了承いただいた。
事務局	車両の入替えに関連する車両のカラーリング等については事務局で進めてよろしいか。
会長	基本的には路線を表している色を使うということで、実際に車両の絵ができたら、次回会議で提示し検討することでよいのではないか。
事務局	(了解) (その他) 次回の会議日程を調整
会長	次回、会議日程は平成28年10月4日とし、以上で会議を終了する。